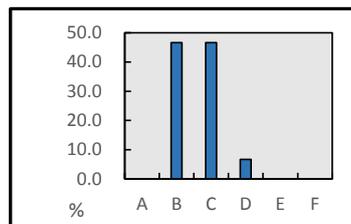


## 2015年度前期大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程講義アンケートとその内容報告

2015年7月実施

### 1. 講義内容について

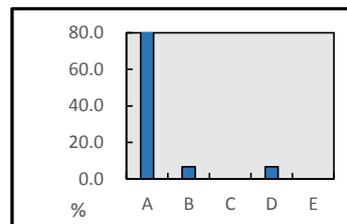
#### (1) 難易度について



【項目】	
A	非常に難しい
B	難しい
C	普通
D	やや易しい
E	易しい
F	該当なし

	票数	%
A	0	0.0
B	7	46.7
C	7	46.7
D	1	6.7
E	0	0.0
F	0	0.0
計	15	100.0

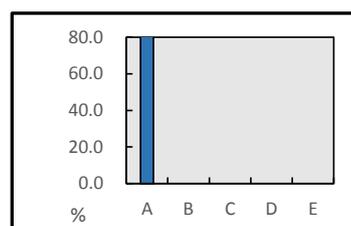
#### (2) 大学院講義としての適切性について



【項目】	
A	適切である
B	やや適切である
C	やや適切ではない
D	適切ではない
E	該当なし

	票数	%
A	13	86.7
B	1	6.7
C	0	0.0
D	1	6.7
E	0	0.0
計	15	100.0

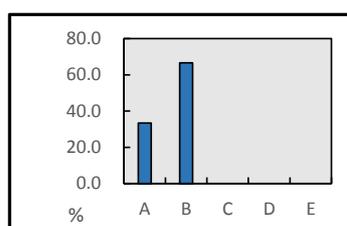
#### (3) 教員の準備について



【項目】	
A	よく準備されていた
B	どちらかというと準備されていた
C	あまり準備されていなかった
D	準備されていなかった
E	該当なし

	票数	%
A	15	100.0
B	0	0.0
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	15	100.0

#### (4) 理解度について



【項目】	
A	理解できた
B	やや理解できた
C	やや理解できなかった
D	理解できなかった
E	該当なし

	票数	%
A	5	33.3
B	10	66.7
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	15	100.0

#### (5) 講義全体で良かった点

- ・英語教員がネイティブの先生だったので、発音等を意識して話すことができた。
- ・1対1であったので、分からない事があると合わせて教えてもらう事ができた。分りやすく、興味も沸き楽しかった。
- ・学部では、漢方の授業がなかったので、興味深かった。
- ・実際に生薬の成分を見ることができたり、分りやすく興味を持って授業をうけることができた。
- ・実習に近い内容の講義があり、自分自身で体感できる工夫が行われていた。
- ・分りやすいように、とても良い創意工夫がなされた授業だった。
- ・少人数なので、理解に合わせたスピードで授業が行われた。
- ・プリントの配付等、授業の準備がよく行われていた。
- ・日本語と英語の授業があったこと。

#### (6) 講義全体で悪かった点

特になし。

### 2. その他、講義に対する希望やご意見を記載してください。

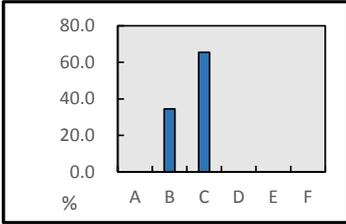
選択科目において他の研究分野を選択することなく、自身の研究分野の専門知識を深めたい。

# 2015年度前期大学院薬学研究科薬学専攻博士課程講義アンケートとその内容報告

2015年7月実施

## 1. 講義内容について

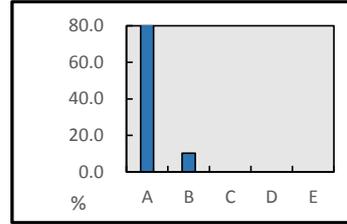
### (1) 難易度について



【項目】	
A	非常に難しい
B	難しい
C	普通
D	やや易しい
E	易しい
F	該当なし

	票数	%
A	0	0.0
B	10	34.5
C	19	65.5
D	0	0.0
E	0	0.0
F	0	0.0
計	29	100.0

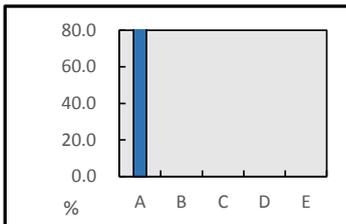
### (2) 大学院講義としての適切性について



【項目】	
A	適切である
B	やや適切である
C	やや適切ではない
D	適切ではない
E	該当なし

	票数	%
A	26	89.7
B	3	10.3
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	29	100.0

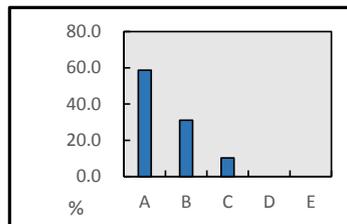
### (3) 教員の準備について



【項目】	
A	よく準備されていた
B	どちらかというと準備されていた
C	あまり準備されていなかった
D	準備されていなかった
E	該当なし

	票数	%
A	29	100.0
B	0	0.0
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	29	100.0

### (4) 理解度について



【項目】	
A	理解できた
B	やや理解できた
C	やや理解できなかった
D	理解できなかった
E	該当なし

	票数	%
A	17	58.6
B	9	31.0
C	3	10.3
D	0	0.0
E	0	0.0
計	29	100.0

### (5) 講義全体で良かった点

- 全体を通して楽しく授業を受けられた。
- ネイティブな英語に触れることができ勉強になった。
- 自分の研究や身近な話等を話すなど英会話の訓練にもなり大変良かった。
- 少人数制で発言する機会が多い点は非常に良かった。また、先生がとても話しやすいため楽しみながら受講することができた。
- しっかりと準備がされていたため、スムーズに授業が行われた点。
- 英語には論文などで触れることは多いが、話そうすることは日常生活ではないので、自分のスピーキング力のなさを知る良い機会になった。
- 毎週クラスメイトと研究について話すことで、他の院生の研究内容も知ることができ、仲良くなることができた。
- 話や自分の研究における Introduction を書くなど実際の今後の研究の助けになり、大変ためになった。
- 普段聞くことができない分野の講義を受けることができ、視野を広げることの大切さを学ぶことができた。
- 学内及び外部講師の先生方から自分の研究分野以外の貴重な話を聞くことができ、とても勉強になった。
- 現在行われている治療の現状と今後の展開、問題点などを含めて、総合的に知ることができた。
- 先生方が実際に行っている研究について知ることができたのが良かった。
- 毎回速読をする事で早く読めるようになった。
- 英会話の時間があるのはとてもよかった。
- 一度で聞き取れなかった場合は、ゆっくり説明してくれた点。

### (6) 講義全体で悪かった点

- 教室の机が使いづらい
- 補講等の連絡がうまく伝わっておらず、急に準備が必要になったことがあった。
- 時間が午後からの時間しかなかったので、午前中も選択肢に入れてもらいたい。
- 実験手法に関する話も聞きたかった。

## 2. その他、講義に対する希望やご意見を記載してください。

- ph.Dコースの授業なので、留学した経験はもっと聞きたいと思った。